

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 特定非営利活動法人PEACE

1. 事業名称 ミャンマー難民、コミュニティの社会参加に向けた日本語教育プロジェクト

2. 事業の目的

東京都近郊に在住している、難民としてミャンマーから日本に逃れてきた人々は、日本での社会的な生活を送るために日本語を必要としているが、地域の日本語教室に通えていない現状がある。本事業は、少数民族出身のミャンマー難民、コミュニティのコミュニティをエンパワメントし、これまで支援の対象として見られてきた難民自身による難民支援及び多様な背景を持つ者が共に暮らす地域社会づくりを発信する基盤づくりのための日本語教育プロジェクトである。当事者である難民自身が、多くの方の力を借りて当事業に取り組み、発信することで、地域や日本在住難民に対するインパクトとしたい。

3. 事業内容の概要

取組1: 難民及び支援者によるネットワーク会議を立ち上げる。取組2: ミャンマー難民、コミュニティのための日本語教室を立ち上げる。取組3: 難民が日本語で発信するシンポジウムを開催する。取組1では、ミャンマー難民、コミュニティのリーダー及び支援団体による会議を立ち上げ、来日した難民を在日歴が長い難民が支援できるようにするためのコミュニティ支援のための連携・協力体制を構築する。取組2では、難民が教会に通う日曜日にミャンマー難民、コミュニティのための日本語教室を開催し、特殊な事情を持つ難民に必要な日本生活情報や生活日本語を支援するとともに、民族を超えたコミュニティづくりを行う。ミャンマー語を理解する通訳者を導入し、学習不安を取り除くと共に、コースの後半には、難民に対する基礎知識をレクチャーした日本人支援者にも学習活動に参加していただいたり、学外の施設を訪問するなどのプログラムを設定し、外部との接点を持たせていくようにする。取組3では、本事業の成果を都内近郊の日本語教室関係者や地域の団体を招いて報告し、当事業受講後に難民が地域の教室に受け入れられるように橋渡しに努める。また広く社会の理解、協働の機会を広げるため、インターネットなどを通して事業成果を紹介する。以上の取組により上記1～4)の課題の解決を目指す。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年5月18日(日) 13:00～17:00	4時間	タンヨージン	永坂哲、山本哲史、宗田勝也、マリッ・セン・プ、マ・サイ・ヘイン	日本語教室の運営方法等の検討	適性なクラス構成の検討、講義内容等
2	平成26年5月25日(日) 13:00～17:00	4時間	タンヨージン	永坂哲、宗田勝也、マリッ・セン・プ、マ・サイ・ヘイン	日本語教室の運営方法等の検討	適性な講義の進捗、事業年度を通じた獲得目標等
3	平成26年9月7日(日) 13:00～17:00	4時間	タンヨージン	永坂哲、宗田勝也、マリッ・セン・プ、マ・サイ・ヘイン	日本語教室の内容の検討	上半期の受講者の獲得目標の評価等
4	平成26年12月14日(日) 13:00～17:00	4時間	タンヨージン	永坂哲、宗田勝也、マリッ・セン・プ、マ・サイ・ヘイン	日本語教室の運営方法等の検討	下半期の受講者の獲得目標の検討等
5	平成27年3月15日(日) 9:00～13:00	4時間	タンヨージン	永坂哲、宗田勝也、マリッ・セン・プ、マ・サイ・ヘイン	日本語教室の評価及び次年度の取り組みについて	平成26年度の評価及び、平成27年度の運営体制等について

5. 取組についての報告

○取組1: ミャンマー難民、コミュニティのための社会参加に向けたプロジェクト検討・ネットワーク会議

(1) 体制整備に向けた取組の目標 ネットワーク会議により都内近郊で難民の日本語学習、地域の日本語教室に必要な難民受入の情報などを把握する。

(2) 取組内容 日本語教育を介した難民の生活の安定化会議(4月は毎週1回実施)、ネットワーク会議では各団体により難民が継続的に日本語を学び、地域の生活情報にアクセスできる方略を検討する。(毎月1回)、各地域の日本語教室担当者に受入先の教室に必要な難民特有の事情に配慮した視点や、難民を教室につなぐ難民のコーディネーターの育成を話し合う。

(3) 対象者 ミャンマー難民、コミュニティ(民族のリーダー)、支援団体、行政、専門家など

(4) 参加者の総数 6人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	ミャンマー 4人
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	2人	

(5) 開催時間数(回数) 5時間 (全4回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年5月18日20:00～21:00	2時間	早稲田奉仕園	6人	日本(2人), ミャンマー(4人)	日本語教室	日本語教室の運営体制について		
2	平成26年5月25日20:00～21:00	2時間	早稲田奉仕園	6人	日本(2人), ミャンマー(4人)	日本語教室	日本語教室の内容について		
3	平成26年11月23日20:00～21:00	2時間	早稲田奉仕園	4人	日本(2人), ミャンマー(4人)	コミュニティ内のコーディネーター	コミュニティ内のコーディネーターの育成について		
4	平成27年3月14日16:00～18:00	2時間	早稲田奉仕園	6人	日本(2人), ミャンマー(4人)	コミュニティ内のコーディネーター	次年度の事業形態とコミュニティ内コーディネーターの役割について		

(7) 参加者の募集方法

コミュニティのネットワークを活用して募集を行った

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

ミャンマーコミュニティの人たちが自ら意思決定することを重視し、「被支援—支援」の関係を越えた会議体であるところに最大の特徴のある活動である。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

ネットワーク会議は、取組の目標として、東京都内近郊の日本語教室の情報収集や、ネットワーク構築、コミュニティ内の人材育成に向けた意見交換となっていた。しかしながら、会議では教室運営等をめぐる課題に関する議論に費やす時間が多かった。このため、都内の日本語教室の情報収集や、ネットワーク構築といった点では来年度以降の課題となった。一方で、コミュニティ内のコーディネーターの育成については、取組2の教室運営と連動し、具体的な候補者が育つという成果を得た。

(10) 改善点について

ネットワークの構成メンバー間で、事前に会議の達成目標と課題を共有し、またその達成のための役割分担を明確にすること、そして、ネットワーク会議構成メンバー間のコミュニケーションを十分に図ることが挙げられる。その上で、次年度に向けてはコミュニティ内のコーディネーターの具体的な役割等についても議論を重ねたい。さらに、東京都内近郊の日本語教室との接続を話し合う時間を設けることも重要である。

○取組2:ミャンマー難民、コミュニティ生活向上のための日本語教育

(1) 体制整備に向けた取組の目標 ①日本語学習支援にアクセスできない難民の把握及び日本語教育・生活情報の提供を行う、②行政を含む各支援団体との連携・協力により、各地域の日本語教室へと繋ぐ流れを作る、③難民が定住初期に必要な生活情報及び難民に特有の配慮を要する事項、ミャンマー語の教材を作成し、地域日本語教室及び支援者に共有する、④難民の中から日本語学習支援者を育てる。(本年度は通訳・補助者として教室に参加)

(2) 取組内容 毎週日曜日2時間の日本語教室の開催

(3) 対象者 ミャンマー難民及びコミュニティのメンバー

(4) 参加者の総数 46人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	ミャンマー 46人
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 70時間 (全 35回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年5月18日 18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	43人	ミャンマー(43人)	会話練習、漢字1	日常の会話及び、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリップセンプ、マサイヘイン、堀越貴恵、藤森幹、中川敏希、本望由香里、井上柚
2	平成26年5月25日 18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	43人	ミャンマー(43人)	会話練習、漢字2	日常の会話及び、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリップセンプ、マサイヘイン、堀越貴恵、藤森幹、中川敏希、本望由香里、高橋美桜、笠原輝太
3	平成26年6月8日 18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	46人	ミャンマー(46人)	会話練習、漢字3	日常の会話及び、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリップセンプ、マサイヘイン、堀越貴恵、藤森幹、井上柚、佐々木礼奈、高橋美桜
4	平成26年6月15日 18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	46人	ミャンマー(46人)	会話練習、漢字4	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリップセンプ、マサイヘイン、堀越貴恵、藤森幹、佐々木礼奈、笠原輝太

5	平成26年6月 22日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	44人	ミャンマー (44人)	会話練習、漢字5	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、藤森幹、中 川紘希、上野純 平、竹之内明莉
6	平成26年6月 29日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	45人	ミャンマー (45人)	会話練習、漢字6	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、笠原輝太、 中村、石渡
7	平成26年7月 6日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	42人	ミャンマー (42人)	会話練習、漢字7	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、藤森幹、高 橋美桜、中川紘 希、伊佐間梨華
8	平成26年7月 13日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	46人	ミャンマー (46人)	会話練習、漢字8	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、藤森幹、高 橋美桜、佐藤泉、 井上柚
9	平成26年7月 20日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	45人	ミャンマー (45人)	会話練習、漢字9	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、藤森幹、上 野純平、竹之内明 莉、本望由香里
10	平成26年8月 3日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	44人	ミャンマー (44人)	会話練習、漢字10	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、ハンビル イ、中川紘希、井 上柚
11	平成26年8月 24日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	44人	ミャンマー (44人)	会話練習、漢字11	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、上野純平、 内山みどり、高橋 美桜
12	平成26年8月 31日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	40人	ミャンマー (40人)	会話練習、漢字12	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、中川紘希、 上野純平、内山み どり、竹之内明莉
13	平成26年9月 7日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	42人	ミャンマー (42人)	会話練習、漢字13	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、内山みどり
14	平成26年9月 14日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	36人	ミャンマー (36人)	会話練習、漢字14	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、中川紘希。 高橋美桜、竹之内 明莉
15	平成26年9月 21日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	42人	ミャンマー (42人)	会話練習、漢字15	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、中川紘希、 上野純平、高橋美 桜、竹之内明莉
16	平成26年9月 28日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	43人	ミャンマー (43人)	会話練習、漢字16	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、中川紘希、 井上柚、笠原輝 太、伊佐間梨華
17	平成26年10 月5日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	38人	ミャンマー (38人)	会話練習、漢字17	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、伊佐間梨 華、内山みどり
18	平成26年10 月12日 18:00 ～20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	41人	ミャンマー (41人)	会話練習、漢字18	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、内山みど り、笠原輝太
19	平成26年10 月19日 18:00 ～20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	35人	ミャンマー (35人)	会話練習、漢字19	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、上野純平、 井上柚
20	平成26年10 月26日 18:00 ～20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	41人	ミャンマー (41人)	会話練習、漢字20	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、竹之内明 莉、高橋美桜
21	平成26年11 月2日 18:00～ 20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	40人	ミャンマー (40人)	会話練習、漢字21	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、高橋美桜
22	平成26年11 月16日 18:00 ～20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	37人	ミャンマー (37人)	会話練習、漢字22	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、伊佐間梨華
23	平成26年11 月23日 18:00 ～20:00	2時間	早稲田奉仕園、 戸塚地域センター	33人	ミャンマー (33人)	会話練習、漢字23	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島 みゆき、五月女雄 吾(講師)	マリッセンブ、マ サイヘイン、堀越 貴恵、内山みど り、上野純平

24	平成26年11月30日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	34人	ミャンマー(34人)	会話練習、漢字24	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、高橋美桜、笠原輝太
25	平成26年12月14日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	33人	ミャンマー(33人)	会話練習、漢字25	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、上野純平
26	平成26年12月14日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	35人	ミャンマー(35人)	会話練習、漢字26	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、内山みどり、中川純希
27	平成27年1月11日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	30人	ミャンマー(30人)	会話練習、漢字27	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、内山みどり、竹之内明莉
28	平成27年1月18日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	32人	ミャンマー(32人)	会話練習、漢字28	特定の場面での会話、漢字検定受験を目標に習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、内山みどり、竹之内明莉
29	平成27年1月25日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	31人	ミャンマー(31人)	会話練習、漢字29	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、上野純平、高橋美桜
30	平成27年2月1日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	34人	ミャンマー(34人)	会話練習、漢字30	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、竹之内明莉、藤森幹
31	平成27年2月8日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	26人	ミャンマー(26人)	会話練習、漢字31	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、内山みどり、井上柚
32	平成27年2月15日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	28人	ミャンマー(28人)	会話練習、漢字32	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、内山みどり、上野純平
33	平成27年2月22日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	33人	ミャンマー(33人)	会話練習、漢字33	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、竹之内明莉、内山みどり
34	平成27年3月8日18:00～20:00	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	35人	ミャンマー(35人)	会話練習、漢字34	特定の場面での会話、漢字の習得を目指す。	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、内山みどり、井上柚
35	平成27年3月15日16:30～18:30	2時間	早稲田奉仕園、戸塚地域センター	40人	ミャンマー(40人)	会話練習、漢字35	コミュニケーション能力の成果報告を実践形式で行う	寄田恭直、矢島みゆき、五月女雄吾(講師)	マリッセンブ、マサイヘイン、堀越貴恵、内山みどり

(7) 参加者の募集方法

コミュニティのネットワーク、コミュニティの祭、集会などで告知を行った。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

ミャンマー難民、コミュニティのメンバーによる、ミャンマー難民、コミュニティのメンバーのための教室運営であることが最大の特徴である。

(9) 46名の受講生が1年間を通して学び、40名が修了した。また11名が全講義に出席するなど、非常に高いモチベーションをもって各回の教室が運営された。また漢字検定の受験者、合格者も多く、この点は、非常に高く評価できる点である。

(10) 改善点について このことを踏まえ、次年度以降は、ミャンマーコミュニティ内での運営が可能な人材の育成、外部の日本語教室等との連携、そして地域社会とのネットワークづくりが課題となる。

○取組3:成果報告シンポジウム

(1) 体制整備に向けた取組の目標 シンポジウムで事業の成果・効果を報告し事例を共有する事で支援者や地域日本語教室関係者や行政担当者に周知し、難民が地域社会の一員として日本語で日本社会に働きかける機会とする。

(2) 取組内容 プロジェクトの実施を報告するとともに、当事者である難民たちが日本語でメッセージを発信し、地域の日本語教室の支援者の方々をはじめ、日本人住民、外国人住民、ミャンマー難民、コミュニティに成果を発信するシンポジウムを開催する。シンポジウムは難民自身が企画から運営・実施に関わ

(3) 対象者 地域住民及び地域日本語教室の支援者、行政担当者、大学関係者、日本語教育関係者、ミャンマー難民、コミュニティ

(4) 参加者の総数 70人
出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	ミャンマー 60人
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	10人	

(5) 開催時間数(回数) 2時間 (全1回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成27年3月15日 16:30~18:30	2時間	早稲田奉仕園	70人	日本(10人)、ミャンマー(60人)	成果報告	来賓挨拶、講師、講師補助者からのメッセージに続き、受講生40名が、それぞれ日本語で1分間のスピーチを実施した。また修了証を授与した。		

(7) 参加者の募集方法

ウェブサイト上で告知を行った。リンク先URL:<http://npopeacejapan.wix.com/peace>

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

日本で暮らすミャンマー難民、コミュニティの人たちによる企画、運営のもと、受講者が準備をした1分間スピーチに取り組んだ点に大きな特徴がある。また、国会議員、大学関係者、政府関係者、メディアなど幅広い参加のもとで学習成果を社会に発信した

(9) 取組の目標の達成状況・成果

受講生が自分たちの言葉で社会に向けて発信するという目標が達成された。ミャンマー難民、コミュニティの人たちによるシンポジウム運営という目標が達成された。政府関係者、メディア、大学関係者などに本事業の取り組みを発信できたことも成果である。

(10) 改善点について

地域コミュニティの人たち、日本語教室関係者を巻き込み、地域社会とのネットワーク構築が改善点として挙げられる。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的 東京都近郊に在住している、難民としてミャンマーから日本に逃れてきた人々は、日本での社会的な生活を送るために日本語を必要としているが、地域の日本語教室に通えていない現状がある。本事業は、少数民族出身のミャンマー難民、コミュニティのコミュニティをエンパワメントし、これまで支援の対象として見られてきた難民自身による難民支援及び多様な背景を持つ者が共に暮らす地域社会づくりを発信する基盤づくりのための日本語教育プロジェクトである。当事者である難民自身が、多くの方の力を借りて当事業に取り組み、発信することで、地域や日本在住難民に対するインパクトとしたい。

(2) 事業目的の達成状況

取組2.の日本語教育事業の始動時に、取組1.のネットワーク会議を開催したことで、取組2.の内容、目的等を関係者間で共有することができた。これにより、難民という特別なニーズを持つ学習者が多くいる中で、ニーズに配慮した授業時間の設定、学習内容の調整などが円滑に進んだ。これは、ミャンマー難民、コミュニティのエンパワメントという目的の達成に大いに役立った。そして、46名の学習者のうち、40名が修了し、11名が全講義に出席したことは、従来の日本語教室に通うことが困難だった人たちに学習意欲を高める学びを提供するという目標の達成を示している。最後に取組3.の成果報告のシンポジウムにおいて、40名の学習者全員が日本語でスピーチを行ったことで、地域、日本在住の他の難民にもインパクトとするという目的を達成することができた。

(3) 地域における事業の効果、成果

ミャンマー難民、コミュニティの人たちが集住し、従来の日本語教室に通うことが時間的、経済的に困難であったことから、地域において40名のミャンマーの成人が一年間にわたり、全70時間の日本語教育を受け、コミュニケーション能力を向上させたことは、多文化社会におけるコミュニケーションの円滑化という地域課題の解決に効果をもたらした。具体的には、取組1.のネットワーク会議で事業コーディネーター等の報告から地域に暮らす学習者のニーズを把握し、取組2.の日本語教育事業に反映させ、とりわけ読む、書くという点に重点を置くことができた。さらに、話すという側面も取組3.のシンポジウムでスピーチを盛り込むことにより、高次のコミュニケーション力の涵養を図ることにつながった。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

1年間の事業を終え、受講生は、2015年度の学習に備えるなど高いモチベーションを維持しており、2014年度の本事業は大きな成果を上げることができた。

ii 今後の課題

その上で、課題としては、地域社会とのさらなる連携および、日本語教室との接続、さらにコミュニティ内のコーディネーター育成が挙げられる。

iii 今後の活動予定

iiの課題解決のためには、何よりもコミュニティ内のコーディネーターの役割、育成方法の検討が重要となり、この点を2015年度に発展的に引き継ぎたい。また、地域社会との連携、日本語教室との接続に関しては、取組1.のネットワーク会議、取組3.の成果報告との連動をさらに緊密なものとする事が挙げられる。

(5) その他参考資料